

## 心とスキルのバランス

どんな仕事でも心を込めてやる事は必要です。どんな仕事でもスキルは必要です。今回は闘病中の子供たちに笑顔を届ける活動をしている日本ホスピタル・クラウン協会理事長の大棟耕介さんの「心とスキルのバランス！」を紹介し

—ある看護学校の講演会がありました。拍手を浴び、壇上に登り話し出す前に講演タイトルを見て違和感を覚えました。それが、「心と心の看護」。私はあえてとても失礼なタイトルに沿わない内容の話をしました。概略は、「学生の時に心の看護を考えるのは十年早い。サービスの軸は、医療従事者であるならば勉強をして下さい。スキル・知識を付けて、経験を積んでください。もともと皆、心を持っている。その心を生かすために、自分の心が折れていけないために、勉強してください。軸をしっかり太くし、自分の立ち位置を固めると、余裕が生まれ相手を観察でき相手に合わせた医療ができる。」唐突にタイトルを否定された彼女達は最初こそ驚いていましたが、最後には真剣に前のめりになって話を聞いてくださいました。

心が先か、スキルが先か？私の会社には似顔絵師が 40 名在籍します。そのうち世界大会で優勝している似顔絵師が 3 名います。同様にクラウンも同数在籍していて、世界大会で優勝している道化師が 6 名います。絵が下手で顔を似せて書けない似顔絵師。面白くない道化師。教えられない教師。病気が治せない医師。運転ができない運転手。心が出ると押しつけが始まる時があります。サービスの軸を意識し、スキルを高め、そして自分に余裕を持つことによって、一人一人が持っている「相手をいたわる気持ち」を生かせるのではないのでしょうか。バランスが重要であると考えています。—

専門職といわれる仕事はもちろんの事、それ以外の仕事にもそれぞれに必要なスキルはあります。それを身に付けることは必要条件で、心を込めてお客さんに対していくのは十分条件です。どちらも必要ですが、スキルがないと心に余裕が生まれてこないのは事実です。心とスキルのバランスをとるために、若い頃にはどんな事でも貪欲に学んでいって欲しいと思います。

1)心とスキルのバランスをとるためには何が一番重要ですか？

( )

2)心とスキルをともに磨くために心がけている事はありますか？

( )